県外派遣報告書

審判員名	金井　大樹	所属	ミニバスケットボール連盟
大　会　名	第37回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会ミニバスケットボールの部		
期　　間	平成30年7月27日～7月29日		
会　　場	富士北麓公園体育館		

スケジュール

期　　日	内　　容	場　　所
7月27日（金）	審判会議	押原公園大会議室
7月28日（土）	大会1日目	富士北麓公園体育館
7月29日（日）	大会2日目	富士北麓公園体育館

会議　講義　内容

講師
山梨県バスケットボール協会審判委員長　　河野　仁　氏
山梨県バスケットボール協会副審判長　　手塚　清孝　氏
山梨県バスケットボール協会審判委員　　丸山　淳　氏
山梨県バスケットボール協会審判委員　　佐田　幸一　氏
講義
山梨県バスケットボール協会審判委員長　　河野　仁　氏
テーマ　「プレイコーリング・ガイドラインについて」
プレイコーリング・ガイドラインについて、資料をもとに講義をいただいた。悪い手・腕・肘の整理など、あらためてガイドラインを確認することができた。悪い手・腕・肘の整理は、どのカテゴリーでも笛を入れていかなければならないものであり、オフェンスのRSBQに影響がなければ取り上げる必要はないが、判定の材料として認識をしておく必要があり、ハンドチェックについては触れ合いの度合いで判断せず整理する。ミニバスケットボール連盟の審判員として、ミニバスケットボールの判定にどのように反映していくか、またゲームをどのように運営していくべきかについて考えることができた。

実技

担当試合	期　日	7月28日（土）	男子　女子	予選Aブロック
	対戦カード	柿生レッズ（神奈川県）　VS	八代（山梨県）	主審　副審
	相手審判	三本木　篤史　氏　（茨城県）		

ミーティング内容　　主任　　羽田　由信　氏　（山梨県）

点差はついてしまったが、両チームともに最後まで集中していたゲームとなった。前日の河野氏からの講義でもあったように、ファウルの3原則の中で、RSBQに影響があるか判定していくよう意識していた。お互いに判定はしようとしているが、審判が先走りすぎているがために、軽い判定となっていることがあるため、RSBQを考え選別していけるといい。

担当試合	期　日	7月29日（日）	男子　女子	2位リーグ
	対戦カード	城東（東京都）　VS　松戸（千葉県）		主審　副審
	相手審判	飯島　祐紀　氏（茨城県）		

ミーティング内容　　主任　萱沼　美穂　氏（山梨県）

両チームともにビックマンがいる対戦カードとなった。リードの時にスイッチサイドすることをお互い意識し、ビックマンがポジションをとっているときにはスイッチサイドしていたが、セットアップポジションに戻り再度スイッチサイドするという動きがなかった。ビックマンが両チームにいるため、フロアバランスを確認しながらスイッチサイドするといい。トレイル時に左右の動きはあるが、ペネトレイトやクロスステップの動きを入れるといい。前日の反省を生かしプレーを確認し、RSBQに影響があったか判定ていたが、取り上げてしまうケースもあったため今後の継続課題である。

担当試合	期　日	7月29日（日）	男子　女子	2位リーグ
	対戦カード	明治（神奈川県）　VS　十王（茨城県）		主審　副審
	相手審判	荻野　崇　氏（群馬県）		

ミーティング内容　　主任　丸山　昇　氏（山梨県）

2位リーグの決勝の対戦となった。平均的に同じような身長差であり、ポストプレー、リバウンドに関してお互い協力できるようにとプレカンファレンスを実施した。
スイッチサイドを積極的にしているが、フロアバランスを考えてスイッチサイドする。
トレイルのアングルが横になっているため45°アングルをとるようにする。ディレクションは丁寧だが声を使う。

全体の感想

今回参加させていただき、審判として必要な様々なことを学ばせていただき貴重な体験をすることができました。河野氏のレクチャーでは、プレーコーリング・ガイドラインについてご教授いただき、改めて再確認することができました。山梨県の皆様には、3日間大変お世話になり感謝申し上げます。また、このような貴重な機会を与えていただいた埼玉県の皆様に感謝申し上げます。学んだことを連盟に伝達し、今後の活動に生かしていきたいと思います。